

色彩・感性・画像 ～ 目で見て、心で感じる科学

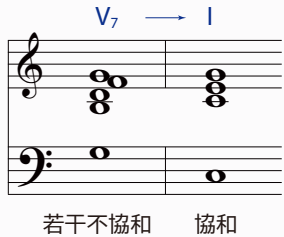
関西大学総合情報学部 浅野晃ゼミ

教授 浅野晃 2022年度ゼミ生 大学院生1名, 4年生12名, 3年生14名



学生の興味関心を, 教員との対話で「育てて」, 卒業研究のテーマとしています。

■ 「動的」と「解決」



「解決」は音楽の用語

調和するものの前に
不調和なものを置いて
適切に移動すると,
「調和感」が高まる

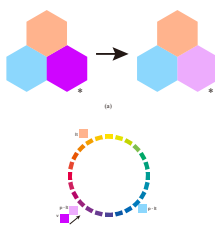
動的な配色や図形に対する感性にも, 同じ現象があるのでは?

■ 動的な配色

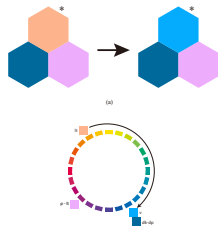


調和する配色と,
不調和から調和に
動的に変化する配色を,
ランダムに呈示

■ 初期の実験(卒業研究)では



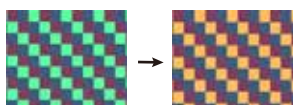
動的配色のほうが
調和感が上がる例



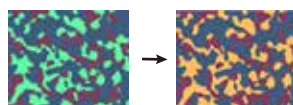
動的配色のほうが
調和感が下がる例

■ その後の研究で (名城大学・川澄未来子先生との共同研究)

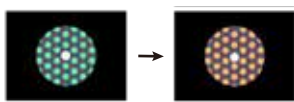
右側の変化(→)のほうが, 調和感がより大きく向上する



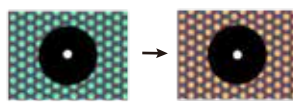
規則的・直線図形よりも,



不規則・曲線図形

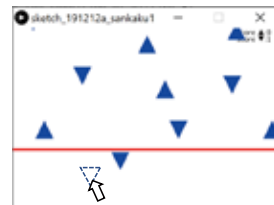


視点を含む中心視での変化よりも



視点を含まない周辺視での変化

■ 動的な図形



▼と▲が上から落ちてくる
のを, マウスカーソルで
捕まえるゲームを行う

三角形の向き(▼や▲)と,
動作の向き(落ちてくるか上がっていくか)で,
捕まえやすさに違いがあるか?

向きが一致しているとき
(▼が落ちてくる・▲が上がっていく)
捕まえやすい

■ 「文理融合的」研究

「文系的」な興味を持っているゼミ生も多いです

■ 日本と中国で, 「赤/紅」, 「青/藍」という漢字に対して
思い浮かべる色に違いがあるか



両国の協力者に,
【1】5つの色相から
「赤」で思い浮かべる
色をひとつを選んでもらう



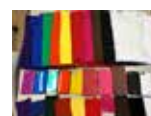
【2】選ばれた色相について,
彩度・明度を変えたものを
呈示して, 「赤」で思い
浮かべるものを選んでもらう

「紅」についても同じ調査を行う
「青/藍」の組についても,
ブルーの色見本で同じ調査を行う

日本では「赤/青」が「紅/藍」よりも彩度の高い色が,
中国では「紅/藍」が「赤/青」よりも彩度の高い色が想起された
両国とも, 色を表すのに日常用いる字のほうが, 彩度の高い色が
思い浮かぶ

調査と実験を組み合わせた卒業研究もやっています

■ ジェンダーと色彩の関連の調査と,
服装や道具の色の嗜好とジェンダーの関連を調べる実験



男女学生に, 左のアイテムから,
好きな色を選んで身につけてもらった
男性のほうが色への規範意識が強く, 女性の
ほうが自由という傾向があった



■ このQRコードで, 浅野のウェブサイト・Facebook/twitterアカウントなどに
アクセスできます。
E-mail: a.asano@kansai-u.ac.jp